

平成 30 年大人の BW「囀り」

H30. 6. 5

毎回通る道にも新しい発見があり

朴ノ木にみつけたたり気高き姿もつ
レンゲの花とも手のひら合わす



むつ市下北自然の家



朴ノ木の花



コンフリ

- 慌しく過ぎゆく春や青い空
- 苔の道 ハルゼミが鳴く 初夏の森
- ちやぶちやぶと 砂を洗うは さざれ水
- セミ時雨 鳥のさえずり かきけして
- 天気良し 鳥よし虫よし お腹よし
- ちどり浜 カモメがカモメを エスコート
- 首領(ドン)の舌 さぞかし百舌も あきれよう
- ヒレハリソウ進化したのか毒持つという
昔はおひたし おいしかったな
- レンゲのようホウノ木め花開きて
明日咲く雄花を静かに待ちぬ
- ホオジロの梢に高く囀りて
青春謳歌うらやましきかな
- 安らかに眠れオオルリよ六月の
潮騒遠くむつのこの場所にち
- うすもも色の浜大根の咲ける浜
恵山のぞむ浜ちどり浜いとし

